

(お約束 ニニ語話長 個人的なことは ニニわけ , と2も大切なこと)

- 小気味を大切に

コミュニケーション

communicare = to make common

いろんな方々

多様

どんな方々?

その前に自分は何?

to make common

ではよく

分かちあう

share.

必ず"自分との対話."

そのきっかけ

### プライマリ・コース I

(1) E の概観について 初歩的な知識を持つ

(2) 取り敢えずでも 自分のタイプを知り、タイプの違いについて理解する

(3) 自分探いの基礎的な演習をし、自分を受け入れる大切さを知る。

→ E で大切なことは どのタイプが 優れているとか劣っているとか、  
又は、良い悪いなどの区別はない、という事だ。

総29タイプの一人ひとりが 掛け替えない、大切な存在です。  
そのため、タイプを呼ぶときは、ただ数字で呼んでいません。

「ニニ名称を話したのち、記憶しやすいようにとの配慮からで、  
ニニ名称からタイプを判断しないで下さい。

特定の呼び名を付けると、その言葉から各自が勝手なイメージを  
作り上げ、そのイメージでタイプを比べ始める危険があります。  
これは特に意識していただくも、半ば無意識にしてしまいがちな  
事ですから、注意の上にも注意して下さい。」

「このように 9つのタイプは、それぞれ かなり異なる特徴を持っています。」

純粋なタイプの人はいない

## タイプ2：人を助ける人

このタイプの人には、何か困った人が居ると、直ぐにその人の側に行き手を貸そうとします。親切で、温かく、心細やかなので、困ったり悩んだりしている人には救いの手を差し伸べないではられません。何時も、人を助けて上げたい、必要を満たして上げたいという気持ちで行動しています。しかし、相手がそれを必要としないと分かると落ち込み、自分の行為に対して感謝されないと怒ります。自分に良い感情を持って貰うために、自分の欲求や欲望は犠牲にして、他人の面倒を見ようとします。他の人に愛を注ぎ、その代償として自分を愛して貰おうとするのです。心が通じ合う事、コミュニケーションが上手く行く事が、人間関係でとても大切だと考えています。世の中のためになろうとする点では、他のタイプの人よりも個人的で、それを人と人との間でやろうとします。そのため私達は『人を助ける人』と呼びます。

◇タイプ2は、いつも他人のために物事を行うことによって、愛されていないのではないかとこの怖れから逃れようとします。はたからは、押しつけがましく、自己欺瞞的であるように見えることがあるかもしれませんが、彼ら自身は自分のことを思慮深く、悪気がなく、寛大であると思っています。

### タイプ3：達成する人

このタイプの人、成功する事が最も好きで、成功のために手段を選びません。何時もはっきりした目的、目標を持っていて、その達成のためにはどうしたら良いかを考えています。成功、達成を願っています。その反面として、失敗を極度に怖れるので、成功がおぼつかないものは極力避けようとし、自分の周りにはいる人達の持つ才能をパッと見抜き、皆を励まし、目標の達成へと導く、優れたリーダー、ボスになって、組織力を発揮します。成功する事が大事ですから、時間を有効に使い、あらゆる事を効率的にしようとし、成功のためには全力投球し、自分の生活も犠牲にする程ですが、それを他人にも要求します。一見するとタイプ1に近い感じがしますが、自分の可能性を開花させ、開発させたい傾向が強く現れます。積極的に世の中に出て行きます。そのため私達は『達成する人』と呼びます。

◇タイプ3は、個人としての優秀性を他人から認められようと努力することによって、拒絶されるのではないかという怖れから逃れようとし、はたから見ると、タイプ3は人目を得ようとしていて傲慢であるようにみえるかもしれませんが、彼ら自身は自分のことを有能で価値ある存在だと思っています。

#### タイプ4：個性的な人

このタイプの人、何かにつけて個人的に受け止め、個人的に発表しようとし、ユニークで、創造的で、独創的で、何よりも感動を大切にします。芸術的で、行動的でもあり、平凡である事、人と同じである事を嫌う傾向があります。感受性が鋭く、人の気持ちに対してとても敏感です。1人ひとりの持つ個性や雰囲気、察しに、素早く気づきます。個人主義的で、自己探求的で、自分に対して極めて正直です。大きなグループには入りたがらず、限られた範囲の、自分を理解している人達とは特別に深い繋がりを持ちたいと思っています。自分の感動を大切に、その感動を、広い意味での芸術的な方法で表そうとします。一方で、自分は他人から理解されていないという不満を持っており、他人を嫉妬し、羨望する傾向もあります。そのため私達は『個性的な人』と呼びます。

◇タイプ4は、感情に身を委ねることによって、自分には欠点があり不完全なのではないかという怖れから逃げようとし、はたからは、あまりにも神経質で、自分の感情に溺れすぎているように見えるかもしれませんが、彼ら自身は自分のことを感じやすく、直感的であると思っています。

## タイプ5：調べる人

このタイプの人、物事をじっくりと考え、データを集め、慎重に行動します。色々の事を調べる研究者タイプと言っても良く、何か事を進めるに当たっては、先ず思考を使い、情報を重視しますが、あまり实际的でない傾向が見られます。該博な知識に通じていますが、自分から積極的に知識を分け与えたり、自分の考えを表現しようとはしません。自分が直接に関わるよりも、傍観者、観察者の役割を果たす事を好みます。沈黙している事が多いので、周囲は屢々当惑します。何かの分野で専門家になり、時には価値ある独創的な着想を生み出します。自分の興味の対象を追求するあまり、身の回りの事には気が回らず、他のものを犠牲にしても考え、学び、知識を蓄積しようとします。そのため私達は『調べる人』と呼びます。

◇タイプ5は、自分が支配できると感じる人生の特定の分野に焦点を合わせることによって、打ちひしがれ、無能になるという怖れから逃れようとします。はたからは、あまりにも極端で、かつ奇妙なほどに超然としているようにみえるかもしれませんが、彼ら自身は自分のことを聡明で学殖が深いと思っています。

### タイプ6：忠実な人

このタイプの人には、真面目、誠実である事を大切に、周りと仲良くしたいという気持ちを人一倍強く持っています。何事に対しても忠実で誠実であり、責任感が強く、互いに支え合うシステムややり方で、協力的に、一所懸命に働きます。何事によらず、誤った事をしてしまうのではないかという不安の感情を持ち、不安の感情に対処するために自分の外側にあるものに頼ろうとします。規則や規範を尊び、何かのグループに属しようとし、権威ある人物に従順で、組織から命じられた事は忠実に実行しようとしています。そのため、自分から積極的に物事を決める事はしようせず、ずるずると結論を引き延ばす傾向が見られます。豊かな感情の持ち主なので、タイプ2と見誤られる事があります。そのため私達は『忠実な人』と呼びます。

◇タイプ6は、自分を人々と結びつけることによって、見捨てられるのではないかと怖いから逃れようとしています。はたからは、防衛的で臆病にみえるかもしれませんが、彼ら自身は自分のことを、信頼でき、頼りになる人間であると思っています。

### タイプ7：熱中する人

このタイプの人、人生を楽しく、明るく過ごしたいという人です。熱中した陶酔感を大切にします。色々の事をやり、人生には多様性がある欲しいと望んでいます。聡明で、明るく、ざっくばらんで、くつろいだ感じを好み、未来について計画したり、夢を追うのが大好きです。反面で、苦しみや辛さをできる限り回避しようとし、深刻な場面、嫌な事を、ともすれば避けようとし、苦しい時でも将来を楽天的に考え、余り愉快でない事も何となく楽しいものにしてしまいます。何時も明るく陽気に振る舞います。自分を縛り付ける事が嫌いで、人生を楽しみたく、楽しい人生を他人と共有したいと望んでいます。その反面、やや落ち着きに欠ける所があります。そのため私達は『熱中する人』と呼びます。

◇タイプ7は、絶え間ない活動に没頭することによって、拒まれ奪われるのではないかという怖れから逃れようとし、はたからは、上すべりで子どもじみているように見えるかもしれませんが、彼ら自身は自分のことを実際的で愉快的なことが好きな人間だと思っています。

## タイプ8：挑戦する人

このタイプの人には、自己主張が強く、何事にも第一人者である事を志向します。自分には活火山のような力があるという感じを持っていて、他人には頼らず、正しいと思った事をどんどん押し進めて行きます。物事を決定する力があり、自信が自然に周囲で感じられます。弱い者、自分を頼ってくる人を助けようとする反面、対立する人、自分に挑んでくる人を排除しようとしています。強烈な体験を好み、挑戦し、困難を克服する事で、自分は生きていると感じます。力によって周りに影響を与え、人を動かす事を好みます。自分の弱さを見せたがらず、自然に備わった力で人を引きつけ、場を盛り上げます。本能的な直感が鋭く、簡潔、明快、率直です。不正は断固として許さず、好き嫌いがはっきりしています。そのため私達は『挑戦する人』と呼びます。

◇タイプ8は、自分は強くてたくましいという姿勢を保つことによって、人の力とコントロールの下に置かれることへの怖れから逃れようとしています。はたからは、好戦的で独裁的であるようにみえるかもしれませんが、彼ら自身は自分のことを力強く自立的であると思っています。



### タイプ9：調停する人

このタイプの人には、落ち着いてゆったりとした安定感があります。内面での静けさを保っていたいので、葛藤や不快な状況は好きでなく、その状況に遭うと、それを解消しようとしたり、避けようとしたりします。色々な事で忙しくする事がありますが、内側では落ち着きを保っています。平和に、円満に暮らす事を好み、自分から事を起こすよりも、起こってくる事に沿って行こうとします。しかし、一旦動き出せば大きな力を発揮する事ができ、創造的になれる人で、想像力やビジョンがあり、かなりの時間、その中で生きて行く事ができます。平和を愛し、人と争うのが嫌いなため、周囲を穏やかにします。他の人に対する価値判断をしないので、その人達の間で一緒に居る事ができます。物事を切り替えたり、新規にやり始めたりするよりは、順当に起伏なく過ごす方が性に合います。そのため私達は『調停する人』と呼びます。

◇タイプ9は、自分を育ててくれる「環境」をつくり出すことによって、自分が周囲から切り離されてしまうのではないかという怖れから逃れようとし、はたからは、ひとりよがりな投げやりであるようにみえるかもしれませんが、彼ら自身は自分のことを、むずかしい要求をせず、複雑なところのない人間であると思っています。

### タイプ1：改革する人

このタイプの人、何時も自分の理想に向かって努力します。何事によらず、きちんとしている事が大切で、何かもっと良いやり方があるのではないかと考えて、改善しようとします。周りを良くして行こう、自分を向上させようと、努力を惜しみません。常に公正と正義を心がけています。しかし、物事は必ずしもあるべき姿ではないので、よく憤慨します。何をするにしても、もっと良くできる筈なのにできていないと思い、自分を責め、ああすべきだ、こうしなければ、と自分を駆り立てます。時間は幾らあっても足りないと感じています。でも、外見からは冷静に見えて、心の中に秘めた怒りを人前に出す事は滅多にありません。正直で、率直で、人と公平に接しようと努め、日常に根差しながら、より良い人生を目指して歩き続けます。そのため私達は『改革する人』と呼びます。

◇タイプ1は、完全であろうと努力することによって、非難されるのではないかという怖れから逃れようとします。はたからは、柔軟性がなくひとりよがり、あまりにも批判的であるように見えるかもしれませんが、彼ら自身は自分のことを公正で、論理的、客観的であると思っています。